

5 本時の学習（11時間取り扱い 本時 8／11）

(1) 目標

太一の心情の変化について、叙述を根拠に読み取ることができる。

(2) 展開

過程	学習活動	時間	○主な発問 ・指示 ◇予想される児童の反応	指導上の留意点と評価	備考
つかむ	1 前時の学習を振り返る。 【一斉】	10分	<ul style="list-style-type: none"> これまでの太一の心情を振り返りましょう。 ○ なぜ、太一は瀬の主を打とうと思っていたのですか。 ◇ 瀬の主を父の仇と思っていたからです。 ◇ 瀬の主を倒して父を超えたいと思っていたからです。 	<ul style="list-style-type: none"> 4つの重要話題をもとに太一の変容前の心情を振り返らせ、本時で中心話題に入っていくことを確認する。 	構造曲線 全文プリント
	2 本時のめあてをつかむ。 【一斉】				
もとめる	3 変容後の太一の心情を読み取る。 【個人】	8分	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「村一番の漁師」とは、一体どんな漁師なのでしょう。叙述を根拠に理由付けて考えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠となる叙述を見つけ、サイドラインを引かせる。 8の場面だけではなく、重要話題をもとに全体から理由付けていくように声かけを行う。 	マーカーペン
ふかめる	4 考えを共有する。 【ペア or グループ】 【一斉】	22分	<ul style="list-style-type: none"> 村一番の漁師とはどんな漁師なのかを発表しましょう。 ◇ 海と共生できる漁師だと思います。なぜなら、「千びきに一びきしかとらないのだから」と書いてあって、与吉じいさと同じように海とともに生きていく漁師としての考え方が分かるからです。 ◇ 海のいのちを守り続ける漁師だと思います。なぜなら、「大魚はこの海のいのちだと思えた。」と書いてあって、海のいのちといのちのつながりを大事にしている様子が分かるからです。 ○ 瀬の主を打ってしまえば、どうなったのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文プリントで根拠を確認しながら発表させる。 「作品の心」を掴む上で重要な話題になったときは、適宜ペアやグループ活動を入れ、一つ一つの言葉にこだわらせる。 	ヒントカード
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> B基準 叙述を根拠に、「村一番の漁師」とはどんな考え方の漁師であるのかを表すことができる。 読 (発言・ノート) 〈B基準に満たない児童への手立て〉 着目すべき叙述が書かれたヒントカードを与え、そこから意見を持たせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 変容前と変容後を黒板で再度確認し、めあてに対する答えに焦点化していく。 		
まとめる	5 学習をまとめる。 【一斉、個人】	5分	<ul style="list-style-type: none"> まとめをしましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> まとめ 瀬の主を打つことで、命と命のつながりを壊してしまおうと思ったから。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「作品の心」を掴むためのキーワードは何か考えてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもたせるとともに、あえて課題で終わることで次時への学習意欲を高める。 	

